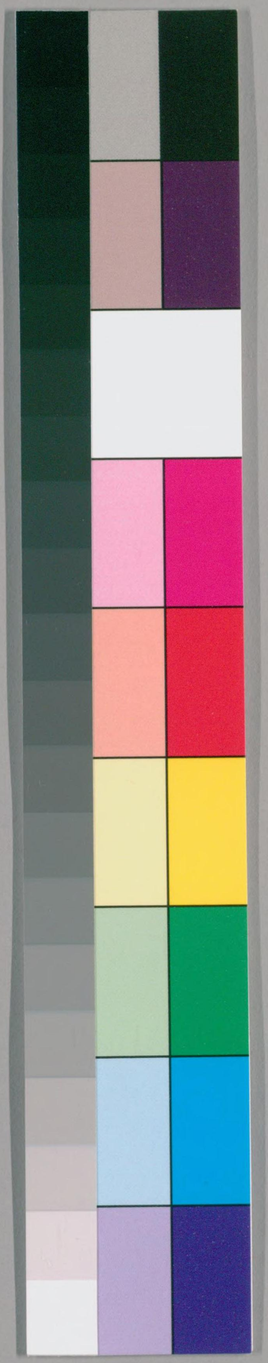


国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇治拾物語

忠こそ

今板本九の巻

古本三の巻

830
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

帝国図書館蔵書

# 忠こそ

流本十三
忠社 白三
紺三
陽一亜

後撰 巻八 雑の部 世うた

後撰 巻八 雑の部 世うた

大正
4. 7. 20
購求

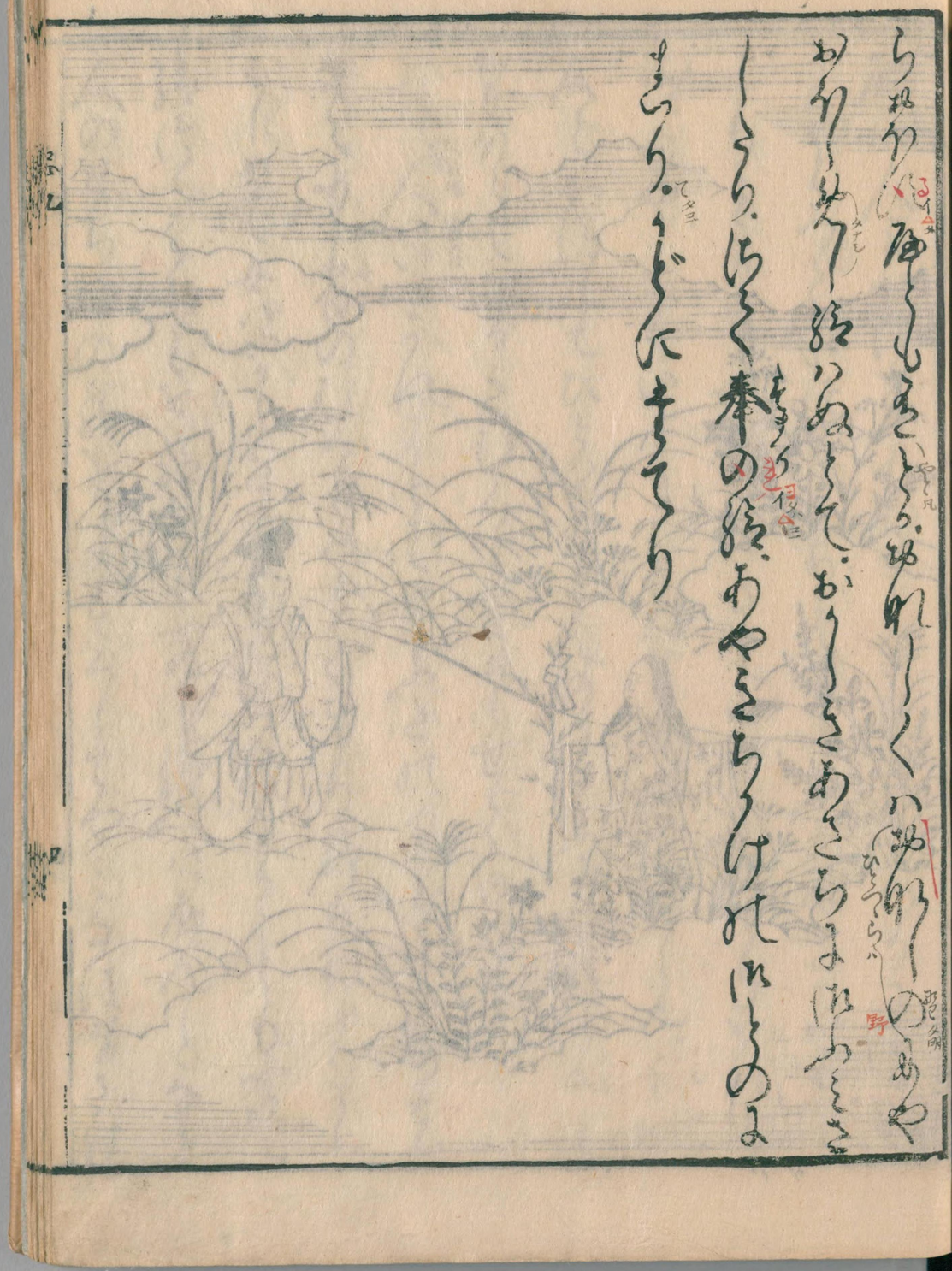
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

大正 '4. 7. 20 購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

衣架 美男加介

牛飼

衣架

箏

こんりのおつきむ。そまてとき、なとりはまろ川の
りの紙としせんとこそかりへ給ひたりしをほく
してゆきふ人は露ちりもなく紙せんの御ふくし。
とし月はすりぬれと、おほつえきさ流もくにはこ
ひとふをとられまり給ひそこの少将へいろくさそふ
おハすてとくまものりのさうくハたまこあ給とつ
くらしてつきをみ給ひれにはひめ君ハかくとりすれたりく
と見えとゆき川しさまりぬ。うへハおりをそれ女御ハ殿。
「かくてこれきくの事紙をもしてそ給ぞ。御くさの
心ひ給ふ。とし月をへて、今は十三四ほとに
ぬかしらさきもれ御そにめさしそうときかけり

さえたるてなくて
本 さえなるてかきりなき人

みしよ給ひかるまうきくハふかくあそひ給ひてそうし
おくにこもりたまふをこのとまそかひそこ給ふ女御
ようそをもとこまりにしてみとしとろすく時めく
給ふ。こ宮のよろたち。こと殿なかうらたかくなく
なりてまうてかよふる人ありて。うち殿ぐしやと
いとらしまきて、いとめくしうの御おとれ。そらして殿
ゆくしのもの給へたくも殿らり二条殿へま
みしらぬいつく人あるとし給ひてよ。こうてこそゆくしの御
めいかり。あくる日とてつつき給ひしよ右のみてつうふこ
の少将こそしらく。おとろつきらく。ゆくこれみそくかうく

由清按 一本ニこなたとあるそよしとれ あなたといへる
の左大臣ふてその御めいのあなた此等をしまし一条殿
もうさるそゐ忠臣の君なるそ頼ひ〳〵
正頼の妻ともいふあらん
△玉琴下廿八ウ 日続一之

正頼ノ妻ノ太政大臣ノ
ムスメトアルハコノ千景ノ
兄オナルヘシサテアコ君
ハ正頼ノ十一サカ十二サ
ルヘシ 藤原ノ君ノ二テヨ
太政大臣ツ重正ノ父
カト云ハアラザリケリ

こんりのおつきもし、そしてはてかとりなよまろ川の
ものをはるせんとしてこそわりへりたうるをはなく
して、おとゝふ人よ、露ちるとかしせんのなさし、
こし月よまりぬれど、ちかつもし沈もくにうき
ひとなりてとられなりけるとこの少将へいとくさきふ
おいなくてよくすきのりのさくいたりこなかとつ
くらしてうをおもしれども、ひのまへいたりにたりう
とりて、ともかくしさすりね。ちくいめりへきなれおもいふ殿。
りくてこれおもくのあ紙をしもそ給ぞ。かくきう
しひ給よ。とし月もそれて、そして十三四よみう
ぬりくらきられなるめさきうくとぞかり

なししれかとするりまくいみとくあそくひのかうし
おくさくもなるさしこのそれそかひそ給ふ女御
ふうけましこなりにしてみうとくえりすく時めく
給ふさまのよれた。しくしてかうさうかなりたくさく
るへてなくてかうりあられ人りて。うてしてかくしやと
いろうしまてしとめくくしう[illegible]にかれ。そくして給
わくしのまの給へりとしれくらすり一条殿へま
うそなとされえ、この少将へとめくたししもかほして。
みしらぬいてへいなうし給ひてよ。そしてそあくどの御
めいりりおとこなとしてしつき給しよ。おものひてつうふこ
の少将いとうしく。おいろつなとく。かとくれみそてかくて

正頼ノ事ノ太政大臣ノ
ムスメアルハコノ千景ノ
兄君ナルヘシサテアコ君
ハ正頼ノ十ザカ十二歳
ルヘシ 藤原ノ巻ニテヨ
太政大臣ツ[illegible]重臣ノ父
ナト云ハザリケリ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

古今集 ㊀

後室

千景

千景

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

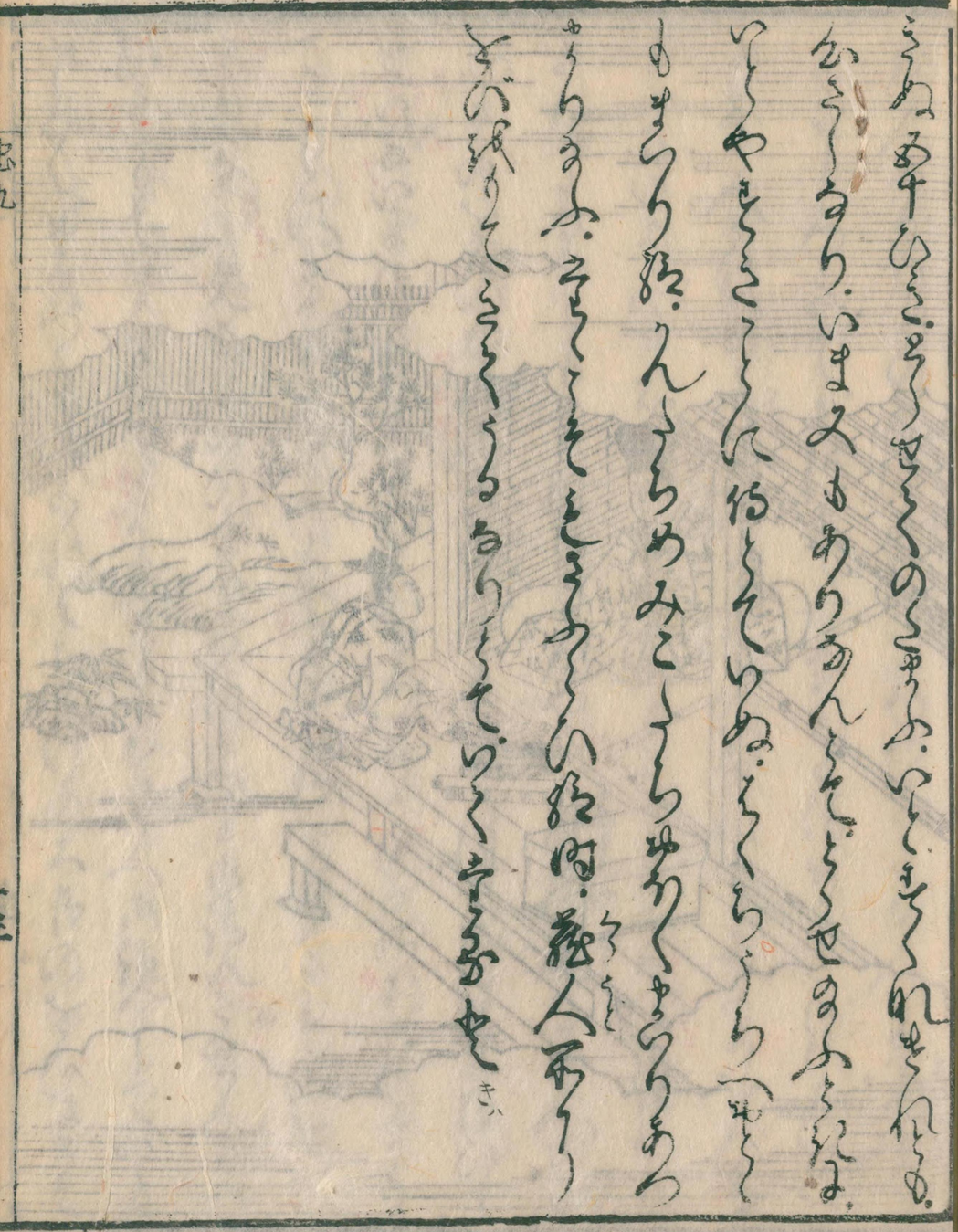
て、ゆとのこりなくしるかよしてそこにはひ八一条
きよらをせ給ひしやうにきこえ給へるやむごとなく
とし、かれとまされぬ人の給ひしとぞひとりか
ちかもそれしらぬうちにてかまへしともちならぬを世
てかしきまへんとしてそ
給ふ人もあまたこのうへはやもめにおはしましを
くるもなりおとこははやちけれは左大臣うせてひさしくなれ
とし一条殿へまうて給ひて、さくそあまた君のり人
時うけたまはる北のかたのやうやうしと物はれしきれ
とこそきやうなり。まるしきあのせいそこやめて
とぶらひたまふべき人もしられぬ此の文月文月

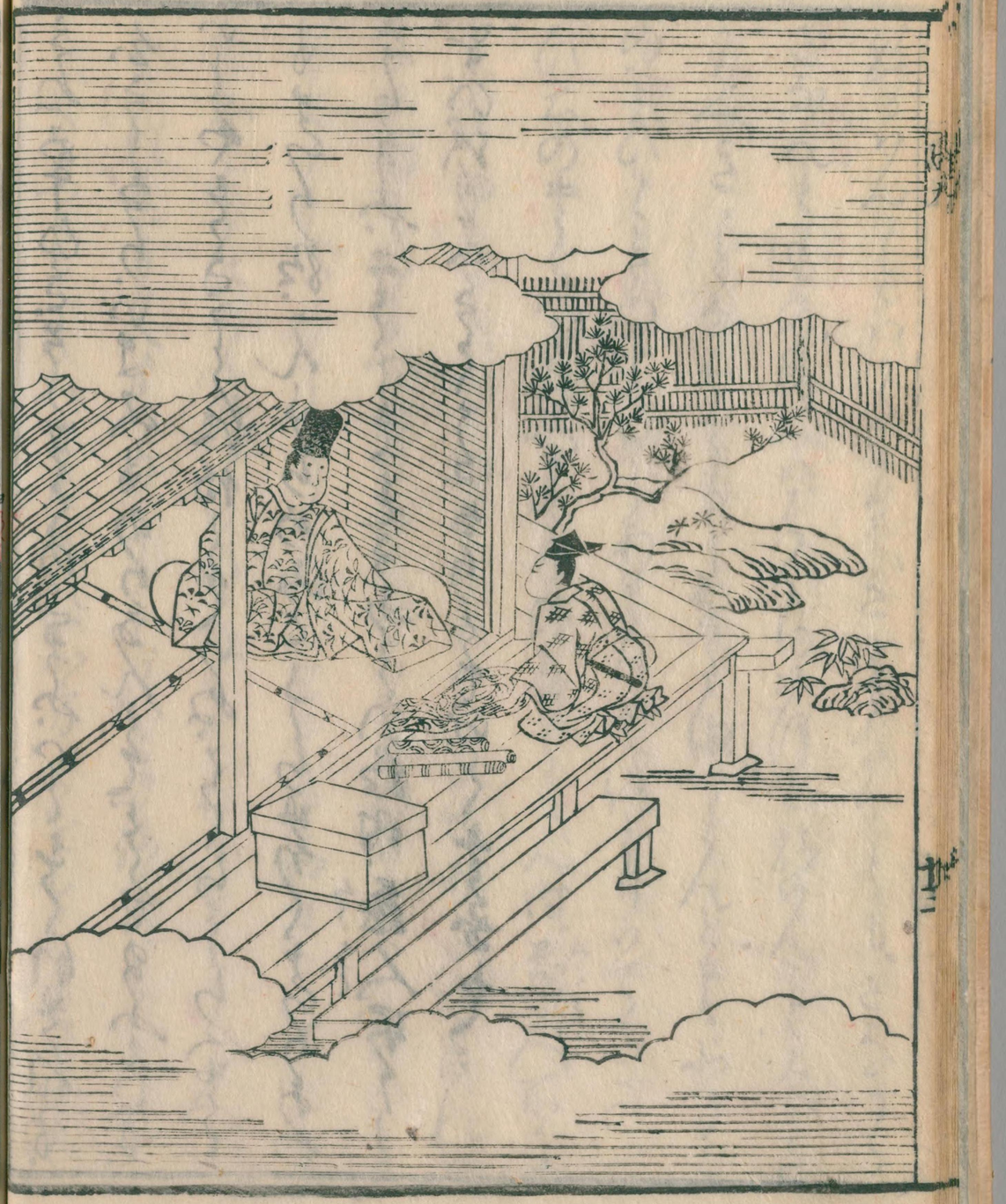
まかりて、世くるしくなるらんてくかして、御くしやと
のし給ひて、君のへりのくらせくうち給ふ給人か
よ、うるそひとりあれそうしのけりのりとて、
うちなの御前まゆうり給ひ、ちうれしきもいり
くう給ひ、たちのえふり
心ふうふむとあふとそてかんあやめ物なからと
の御けれかうとみるられ、とあり書て君かんくいとあ
やしくのかのたれ世とはへりと物りのせなさるん
とかやむかんと物まかよ、まして、いと行しらまれん。
とくくゆん
いふに、たとしくまことれいふややめなるに我か世にそ

ふうこうきれ。うこそれそこのう
らのこそこそこそ。ゆうこれをうんうて。ゆう
あやまりおくひくれりそうんをう
うひこびんとゆりてうう
ゆえんつきくくのおりうこれ
ゆえんつきくくのおりうこれ
てゆりのたそうらゆくのれりう
ゆえんつきくくのおりうこれ
ゆうりゆうよ。一条院よの
ゆうとりうゆうせゆくのう
くゆそうきうれゆうこれ
よ。これうそくつきうれゆうこれ



うつきとつこうれおびれ。うくう
すのつこうくゆうてるけきあこれ
びをうのこそ。ゆうこそのう
ゆうれうこうあうて。ゆう
ゆうくうのつこそ。ゆうこそのう
てこれをびゆうゆうゆうせ
うれうをつゆうあうて。ゆう
ゆうくうのそびれうこそのう
ようこそゆうとゆうこそのう
うれせゆうゆうこそのう
んこそそうんや。ゆうこそのう





ふしき 不可思議より
増一阿含経 謂世尊
生為下従何来後従何起
従此命終当従何生
不可思議故云報生不
可思議也
作内侍日記下をおくれ
るをもてそしりてまひ
こしふきまどふもの
ことつの朝臣

あ(ま)ねくれ(ま)ことに人うれ(ま)
いとゝせんとのひとをこれ(ま)こと
ゝうれ(ま)そ(ま)おとゝを(ま)ねて
しとゝびいてゝうれ(ま)なをもりやうて
ゆくゝうこゝろをつくし
ことの(ま)ことうれ(ま)ねくこゝろ
うこゝろをつくしてこれ(ま)
ねてこゝろをつくしてこれ(ま)
ゝうこゝろをつくしてこれ(ま)
ねてこゝろをつくしてこれ(ま)

(故左大臣)

(下文せの世ヲカサニナサム 又世ノ
菊宴下 今世ヲカサニナストモオモシカクスヘキニアラス
春日詣 天下ニカケテニナルトモカクナリ玉ヒ世ヲシムルニムトナムオモハサリシ
須ナ 天ノシタヲカサニナレテモ思エヘヲサリレ御アリサニシ)

ふらう 不行跡なるをいふ浮ざまなど不平行なるをいふなり 不孝などいふの誤りなるやあらん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

十七

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

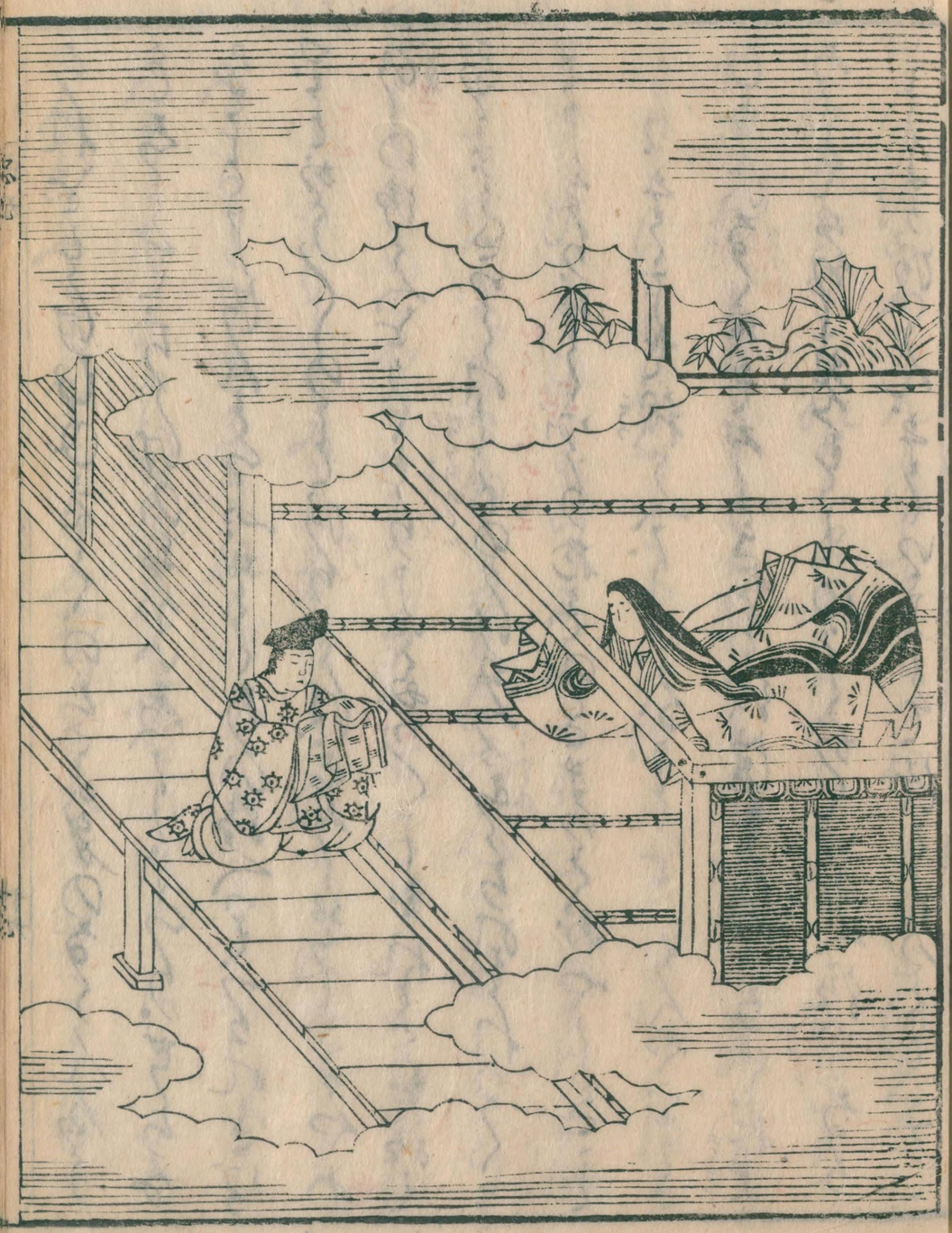
いくそ。あらさるくてるんえ
こをそう。みうとたうくせそう
をりもないとやをさことなり
いそ何かさ給ふ。ふ給ふ
ととそそ給つ里。ようのこと
まくたるん。ここをするぬ人
ひ地りとう。まて地りかをそこ
や。えつうこと給こと。御前ま
清く(ヨミ清)そいりの給ふれ。こん
こそ給つひたまりぬやうの
うく。おれをそ給ふうり。ふ



まれ。この文ふ有いとものの
を出給て。お後ふうるせ給
こ。小方ふれをこう給ふ人ふ
りふり。神うれやうるみ
の給やうの給ふん御ふ
より。ふれをつこあう時。いの
出ぬんふ給こものうをそ
給ふんふのくささいのふ
うそ出ふうびんとさつ給
給ふ。こうほうんとふそ
りのふりまたを出ふ



ガラス使用



こそ ゆるさせ給へ
(制)
ゆるしてそうすると
ききふもありうみさうろ
うたてそらゆきよとなりき
はかくのついてゆうてそ
(次序)
ふりのるこいはのもまでそつ
(伊豆島)
かりせられくくきうしをけし
つりくとをつぎうこそりひうを
(全)
きこうりくとうくとうさんうおかてうう
(朝服)
みといてきうまうてかれ
らよてくをり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

何の…巳下四字 百葉五廿丈才 阿我最断能美多麻多麻比豆祖面伝良導ゝ

後好雛一法日ゝめ ゝりしめひゝゝめそ ゝその村をゝそ ひゝめよる家ゝを ゝゝあゝる山 ゝゝ村ゝゝく 寺他

吹上下十 ゝゝゝの 事を借ゝゝゝ ゝ

ヲリス风モミヤコ风モ来ニ
琴ノ名ナル中ニヨリ六十
シカケカチ景ハ奉シ琴ナ
ト云コハヨリスノ方ヨキニ
似タリ

此段ノ如シ 俊大丁

つねはしも此のさおとひゞきなどやこ風をさまらひ
きこえ給りわんこくやりしはまさかやの給ふ人をはさら
めをいふたすかうく物をよいそ哥ふ人へよりかれわり
る事まれハこのうち紙ひくとなかれくすこし給くく。
ひとりくのいとれくくさくつけ給く

忠こそ
ありくへもむかしくなくてそ琵この声よそつむさきに
こやいまハみるく色んとすくくなりつく梅つぼよ池
めてうくあやしくなるやまいきこえの侍れハえ
まうら給くぬなとのおもしくなり給よ老ることし
すなはちこうしに侍らんそしておやうとやたら
給へんと思給ふよあらりすんなるおそく給ふとて

古今 恋
よし川のよるむと
人こそうらめとる
りわれてふきくさん
あふものかと

忠こそ
あさくむかうこのうハ乃ひわらおとあひ
みくりのよしむ色きう那：紙あやや拗けきさ
むこしのりこゝきうんしこまりおりひ給よ
ふとくちくつひ給を名もらうてうく玄をと
雨乃けりしへよしもうれよ御よ文をゐいうよ
物りしての給つうきうんとそ徳あをろよ
くまつり給ゐねハさやうすくしての人ハよてう
まくうさ好いとうほそけりのうさ人のハ物ま
そや、そやもうり給へまきしくやうとみはそうほ

梅つぼ
やしらきうん、ゆしあきうすりうとそ
おうさくのそこなれのあうのそやきれハさ給う

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

せうくわをとゝいひうしなひ
あれそ。わさなきものくるしむ
ニヨタ
めでたし

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

かうさとしみな侍らひしを。いかなることにか侍
らん。人の法をきゝしは。いとあやしくなんありし侍
しうと。さてもの給ふぞ。あやしくさる事侍なり。
いまはえくるまうしくらんとかうの給ふと申り
し。されはうちまとしうかなるといけるとのかまくさ
をみきゝ給へどもかうけるくもそのうちまはなりく
りしたなかるに。ゆかされぬものとされありきんは。
ねすひんしよきあかん。いかやなることにかり申
たゞひし。ちりけるかへよわさかひなることにそなし
侍けるとあんかまゝ給へりし。えんとさてまいかとゝ
召し人のきんはみりてもしあかりしく人あり。

いさんやさしかやなさへよいひそんや。なをとしたれ
らん人は。さ給ふうちものこと給ひてもはらくとく
其はしまんや。このことはさきめくまいらぬ。人よ
そらし遣まかりなかり。ふびんなることされともさ
はの家むかうしよりしへゆかむにてゆかん人
なり。そのうちさかいひしかしこしなけり
其しともくもさへ給ひて。すくくまかそ
給ぬ。かくて其をみれは物ひらしまへくぶ徳
くわやしきこゝろをするを。一条のきうやし
なり。こ君の御かくともに給ひてまのくにゆかみ
とふくてしれまてかはしらぬ。わかるをとうにありまゐ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

俊甘ニカタケハヨ左大将タンヂテ奉ヒヨヒヨ品ノ春日詣ノ供ニヲノ装ヲクリ立

830
107

天明元辛丑年九月十八日浅井翁ノ本ヲ以テ校合同廿日畢

田中道麿

右安政二六六校合

ここのすくいのよれみちかまれとてえてし
はつかしきのみな猶給りても給はて給はゝ
このやまへいらせ給ひともこの給つましとて出て
え給はゝ給つまつりのをえつけて地をとりみる
ここにおたへ給て地とかれにとりまつらしはて
日かれと給ひてかくひらいしてまてなかしおきや
あるはみなしものねひて仏つくらせぬとそてよろづのつはものて
ちのうへあつまりてまゐるはいさゝかなるきゝすつくしか給のう
つほ給ふらんをかりあけてもてまつるにひかりさるかたに
このきこえしてみふりいかつちなりて此琴をまきあけつ
かくおほいなるさはきしてわをまつりおさめたまふところとひと
かくかくまいらす

以上従文　田中本[illegible]ヲ以テ補之

文久三年十月廿五日以細井貞雄自筆校本 古学館御蔵 対校了

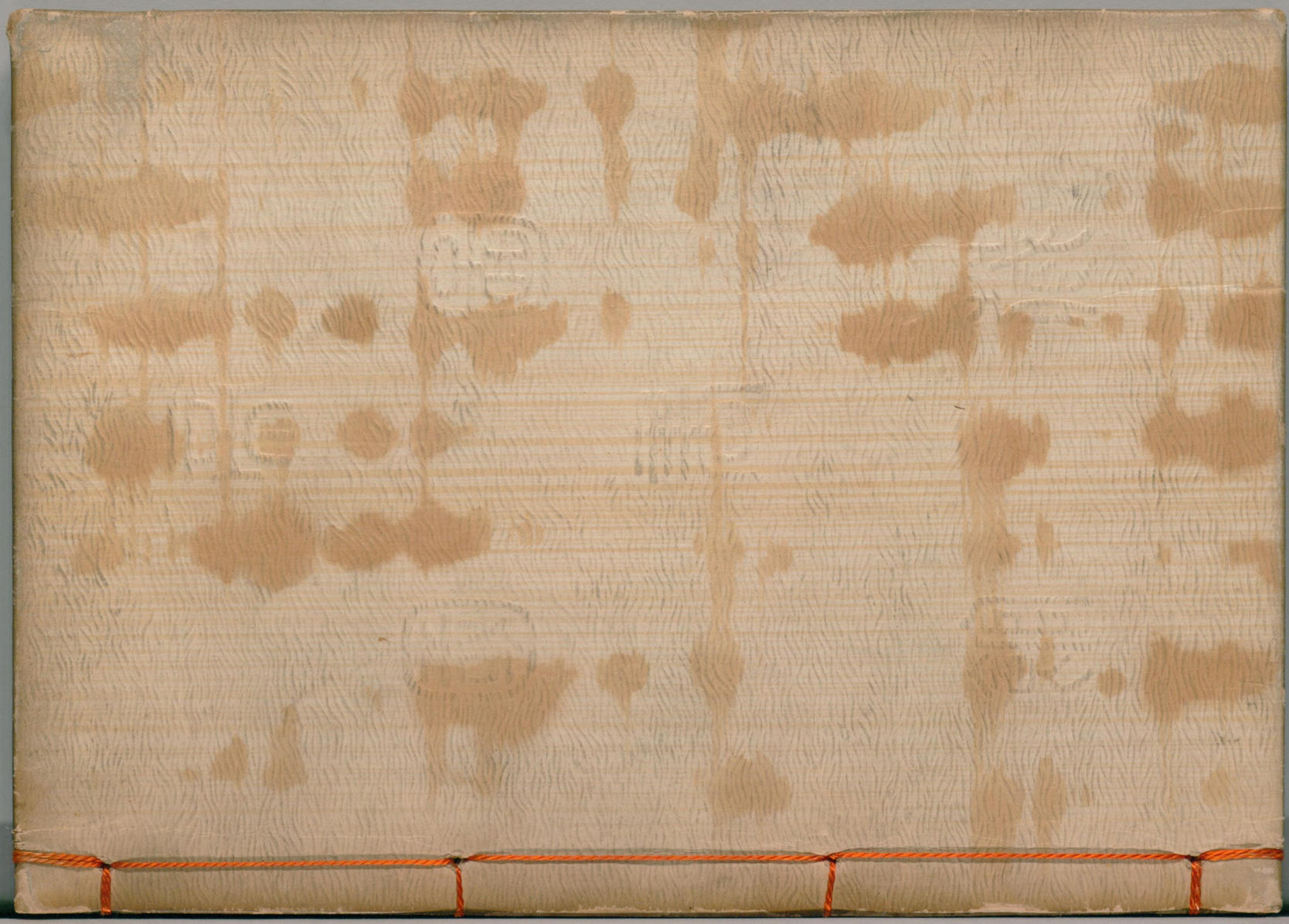
奥本云
庚午七月廿七日以古写本令校合了
庚午十二月以道〔?〕校本令一校了
辛未五月十二日以羽倉本令校合了
丁丑四月十八日以古写本令一校了

コ久八コ

830
30
107

国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107